

樋口さんに聞く！

難関資格取得
への道

2024年1月に入社された樋口さんが、
2025年3月に見事、1級管工事施工管理技士の
資格を取得しました！

今回は取得を目指した動機や、日々の勉強方法について詳しくお話を伺います。
資格取得で、仕事の幅が広がります！ぜひ参考にしてください。

1級管工事施工管理技士とは？

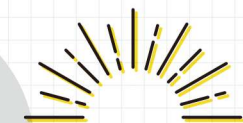
管工事の現場で、工程や品質、安全などを管理する「**監理技術者**」等になるために必要な国家資格

■ 受験スケジュール

第一次検定 例年9月上旬

第二次検定 例年12月上旬

合格発表 翌年の3月上旬



第一工事部 施工管理

ひくち ともまさ

樋口 智雅さん

合格までの学習スケジュール

会社の支援を力に！

講習会をフル活用した学習戦略

1級管工事施工管理技士の試験は、第一次検定と第二次検定があり、最終合格まで約1年がかりの長期戦です。学習を本格化させたのは2024年5月からでした。

平日は日々の業務に集中する必要があり、帰宅後に十分な学習時間を確保するのは簡単ではありません。合格の鍵となったのが、会社の制度を利用して参加した講習会でした。まずは第一次検定の合格を目指し、この期間に開催される終日の講習に全神経を集中させました。業務の一環として与えられたこの貴重な学習時間を最大限に活用することが、合格への最も確実な道だと考えたのです。

資格取得の動機

プロとして不可欠な資格への挑戦

1級管工事施工管理技士は今の仕事に不可欠な資格だと、入社後すぐに認識しました。近年、法令順守はもちろん、品質や安全に対する社会全体の目が厳しくなっています。そのような状況下で、法的な要件を満たすことは最低限の務めです。それに加え、お客様からの信頼を得る上でも資格の有無が評価基準の一つとなり得ます。同じ提案をするにしても、無資格の担当者とは、お客様に与える安心感は大きく異なるでしょう。プロとして専門知識を客観的に証明するためにも必ず取得すべき資格だと考え、挑戦を決意しました。

樋口さん流の勉強法 01

地道な努力を積み重ねる

私の場合は、講習会の教材と過去問題をひたすら繰り返し解くことに徹しました。一見、遠回りに見えるかもしれませんが、それが最も確実な方法だと感じています。地道に知識を一つひとつ積み重ねていく以外に、合格への道はありません。幸い、これまでの業務経験が学習の大きな助けとなりました。専門用語や現場の状況を教科書の上だけでなく、実体験として具体的にイメージできたためです。ゼロから学ぶのとは、知識の定着度が大きく異なったことでしょう。日々の業務こそが資格取得の土台なのだと、学習を通じて改めて実感しました。もちろん講習だけに頼るのではなく、試験が近づいた休日は一日を勉強に充てるなど、やるべきことは着実にいったつもりです。



講習会



樋口さん流の勉強法 02

会社への責任感が最大のモチベーション

よく「モチベーションの保ち方は？」と尋ねられますが、私の場合は「責任感」でした。高額な講習費用を会社に負担してもらい、さらに貴重な業務時間を学習に充てさせていただいています。これだけの支援をいただいている以上、中途半端な結果で終わらせることはできません。「必ず結果で応える」という一心で、学習に向き合っていたように思います。この使命感こそが、時にくじけそうになる心の支えであり、同時に学習をやり遂げるための原動力だったと言えるでしょう。

これから資格取得を目指す皆さんへ！

やる気さえあれば誰にでもチャンスはある

1級管工事施工管理技士は、お客様からの信頼と自信につながる重要な証であり、今後の業務に不可欠です。簡単な試験ではありませんが、特別な才能や学歴は問われません。日々の業務経験を武器に「必ず取得する」という強い意志で臨めば、道は必ず拓けるはずです。皆さんが合格を手に入れることを、心から願っています。



マネジメント の コツ



ふかみ えいじ
製造本部 深見 英司さん

44号でお届けした「マネジメント初級編」に続き、今回はさらに一歩踏み込み、マネジメント2～3年目に多くの人が直面しがちな悩みにフォーカス。長年の経験の中で幾多の困難を乗り越えながらも、「それでもマネジメントは楽しい!」と語る深見さん。その言葉には、実践を通じて磨かれた数々の心がけと気づきが詰まっています!

マネジメントのコツ 中級編

つまづきポイント1



指示が意図通りに伝わらない

マネジメントを行う中で、私が伝えたことが思い通りに受け取られず、違う動きにつながるものが少なくありません。特に部下に仕事を任せる場面になると、これは避けて通れない課題だと感じています。

対策

山本五十六の言葉「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」を胸に、模範となる行動を心がけています。部下は上司の姿を見て成長するものです。まずは自分の言動で手本を示し、信頼を得ることが重要だと考えています。もちろん私自身も、決して完璧な人間ではありません。ミスをしたときには「申し訳ない」と謝罪し、自分の非を素直に認めることを心がけて

います。プライドに固執せず、素直さを持つ姿勢が、部下との信頼関係構築には欠かせないと捉えています。また、自分の行動を客観視することも大切です。自分の大切な家族が仕事ぶりを見たとき、「かっこいい」と思われるような行動ができているかを想像し、常に自問自答しています。

これからマネージャーを目指す方へ

「大変さ」の先にある、マネジメントの真価

管理職には困難や思い通りにいかないことが多くありますが、そうした苦労や不満も含めて「楽しむこと」が何より大切です。努力の結果はすぐには見えなくても、数年後に振り返ったとき、「あのときやって良かった」と感じる瞬間がきっと訪れます。例えば、私自身、過去にチームの立ち上げで苦労しましたが、その経験が目覚ましい成長につながりました。長期的な視点で物事を捉え、困難を前向きに受け入れながら楽しむ姿勢を持つこと。それが未来の糧となり、大きなやりがいへと結びつくでしょう。



つまづきポイント2



部下との良好な関係性の築き方

信頼関係がなければ、どんな指示も部下の心には響きません。特に世代間のギャップがある中で、円滑なコミュニケーションと強固な関係性の構築は、多くのマネージャーが抱える課題です。

対策

「今時の若い子たちは……」という決めつけをしないようにしています。自分も若いころに言われた経験があり、良い気持ちはしませんでした。それぞれの時代や価値観があるため、相手の目線に立つことを大切にしています。例えば、部下が意図しない方向へ進んだと感じた場合、すぐに否定するのではなく、相手の考えや背景を丁寧に聞き取るよう努めています。こうした積み重ねが互い

の理解を深める第一歩だと考えます。また、日ごろから密なコミュニケーションを図り、信頼関係を築いていきます。特に職人や年上の方も含め、関係性が未熟な状態では私の言葉が単なる「物言い」になりかねません。そのため**相手の人間性を尊重し、素直な姿勢で接するように心がけています**。時間をかけた関係づくりこそが、良いチームづくりにつながると信じてやみません。

社員が語る!

「小澤製作所で働いてよかった」

資材部

まえだ りえ
前田 理恵さん

働きやすい環境、充実した福利厚生、そして温かい人間関係。
社員が実感する、小澤製作所で働くことの魅力をお届けします。

小澤製作所で働いてよかったこと

01 子育てとの両立がしやすい環境に感謝

子どもが今よりもっと小さい頃は、急な体調不良による学校からの呼び出しなどもありました。そのようなときも柔軟に対応してくださり、「お子さんを大事にしてください」という温かい言葉をいただきました。子育てとの両立に理解を示してくれるため、大変助かっています。まだテレワークが一般的ではなかったころから、在宅勤務という形でサポートしていただいたことも忘れません。これにより、長期休暇を取得せずに済んだだけでなく、金銭面での心配も軽減されました。常にサポート体制が整っていると実感しています。



02 充実した福利厚生に感謝

福利厚生の一環としての家族旅行は、宿泊費、交通費、食事代まで会社が負担してくれるため、大変ありがたく感じています。東京ディズニーランドやユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどに家族で行き、会員制のホテルに宿泊できたことも、子どもたちとの良い思い出になりました。

今後の目標

今後も健康に留意しながら、会社に貢献していきたいと思っています。このまま穏やかに、定年まで働き続けられたら嬉しいと思います。

